

子どもたちに漢字の力をつけさせよう

このように考えてきますと、漢字力は、国語の力を左右する大きな鍵になっていることがわかります。むかしから、漢字の読み書きを問題にするのは、あたりまえのことだったのです。

戦後、表裏一体であることばと文字とをわざわざ切り離して、ことばを漢字と関係なく学習させてきております。これでは、ことばを正しく深く理解することができません。これでは、ほんとうの国語の力はずきません。国語の力のないものには、どんな学問も、そのとびらを開いてくれません。人生の知恵もさずけてはもらえません。わたしたちは、子どもたちのために、まずなによりも強い漢字力をつけてやらなければならぬのです。